臨床研修カリキュラム

養成コース [病院総合内科]

全体目標:内科診療の基本を身につけ、患者の社会的背景や価値観に配慮し、全人的視野のもと、入院患者の一般的・全身的な診療とケア、症候への対応ができる。特に、緊急入院した内科系疾患に関して、臨床推論を学び急性期の対応や診断からの加療に関して学ぶことができ、入院から退院までの基本的な診療ができる。

個別目標:

	1カ月	2ヶ月以上(再ローテーションを含む) 左記に加えて下記の事項ができる
1	医療面接、全身の身体診察ができる	
2	適切な診療録の記載ができる	
3	以下の検査に関し、①適応の判断 ②手技の実施 ③結果の解釈 ができる。 尿・血液検査、動脈血液ガス分析、心電図、超音波などの機能検査、血液培養などの各種培養検査	
4	胸腹部X線の適応の判断と系統的な読影ができ、解釈を述べることができる	
5	CTの適応の判断と系統的な読影ができ、解釈を述べることができる	
6	医療面接、身体診察、検査結果をふまえ臨床推論から鑑別診断を行うことができる	
7	一般病棟での血圧や in/out などの循環の管理、酸素投与などの呼吸管理が理解できる	一般病棟での急性期の呼吸・循環の全身管理および栄養管理を立案・実施することができる
8	肺炎や尿路感染など頻度の高い感染症の初期治療ができる	培養結果、抗生剤の感受性などの結果を踏まえ、抗生剤の調整および投与期間を判断することができる
9	高齢者のせん妄や不眠に対して病態の理解ができる	高齢者のせん妄や不眠に対して、身体抑制の適応の判断、薬物治療の初期対応ができる
10	集中治療室の適応を理解し、状態悪化時に適切に上級医に相談することができる	
11	複数プロブレムのある患者に関して他の診療科とコミュニケーションをとって指示が受けられる	
12	患者の社会的背景を鑑み、看護師やリハビリスタッフ、SWとコミュニケーションをとり、退院や転院に向けて社会的問題点を指摘することができる	患者の社会的背景を鑑み、主体的に退院や転院に向けて調整することができる

方略:

病棟で2-5人程度の患者を受け持ち、上級医・指導医の指導のもと受持医として主体的に診療する。

- ・朝回診…毎日 8 時 30 分ERカンファ室。受け持ち患者に関してプレゼンテーションを行う。
- ・リエゾンカンファレンス(毎週火曜日)、脳外科カンファレンス(毎週火曜日)、感染症カンファレンス(毎週水曜日)などで、受け持ち患者のプレゼンテーションを行う。

評価:

- ・PG-EPOCによる指導医評価を行う
- ・PG-EPOC による看護師等からの多職種評価を行う
- ・ローテーションの終わりに印象に残った症例を科内で発表(共有)(任意)